

すこやか

平成 30 年 (2018)

1 月 12 日

南町小学校 保健室

南町小、インフルエンザ注意報です。

インフルエンザと風邪の 違いをチェック

	インフルエンザ	かぜ
原因ウイルス	A,B,C	アデノウイルス・RSウイルス・ その他多数ウイルス
感染経路	主に咳・くしゃみ等の 飛沫感染・接触感染	飛沫感染・接触感染
潜伏期間	通常1~2日 長い場合は5日	5~6日
発症期間	10日以内	普通は3日以内長くて も1週間程度
進行	急激	ゆるやか
発熱	38~40度	37~38度
鼻水	後からでる	ひきはじめにでる
咳	強い	軽い
頭痛・関節痛	強い	軽い
寒気	強い	軽い

無理な外出はかぜのもと

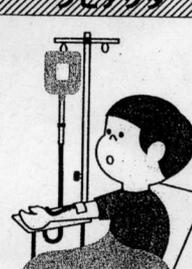
全国各地で大雪の情報が伝えられています。東京は朝夕の気温がかなり低くなり、乾燥もはげしくなっています。ただ、日中は随分暖か過ぎて過ごしやすい毎日です。インフルエンザの児童が増えてきました。休み明けに急に欠席が増えるのではと心配しています。

インフルエンザは伝染力も強いです。インフルエンザは突然の発熱からはじまります。本日、帰宅して食欲が落ちていて元気がないなどの様子がありましたら、検温してください。現在インフルエンザ A 型 B 型どちらもでています。

インフルエンザにかからないようにワクチンを接種し手洗い、うがい、マスクの着用する予防が一番ですが、どうしてもかかってしまうのがインフルエンザの感染力の強さです。風邪と間違わないようにしましょう。発症して、検査が陽性の場合 48 時間以内に適切な抗インフル薬を服用すると早期に回復します。

しかし、今回は発熱して病院で検査をしてもインフルエンザ (+) にならない児童もいます。でも、兄弟や家族で感染しているときは薬が処方されて、登校を禁じられているケースもあります。

インフルエンザの治療薬は3タイプあります

タミフル	リレンザ・イナビル	5ヒアクト
		
<p>カプセル、またはドライシロップを1日2回、5日間続けて内服。10歳以上の未成年者には、原則として使用不可。嘔吐で薬と一緒に吐いてしまうこともあり、注意が必要。</p>	<p>リレンザは1日2回、5日間の吸入が必要。イナビルは1日4または8吸入が必要になる。成人・小児ともに使用可能だが、適切に吸入できない小児の場合は注意が必要。</p>	<p>2010年に認可された比較的新しい治療薬。内服・吸入が難しい乳幼児(0歳児~)から成人まで使用できる。1回15分の病院内での点滴で投薬が完了する。</p>